

西中学校 1 年生が本校農場で環境学習を体験

9月6日（月）、人権フィールドワークのため、西中学の1年生16名が本校農場を訪れました。

本校農場は、全体で約5ヘクタールあり、ビオトープ池をはじめ、農業や環境について学ぶための絶好のフィールドです。農業科の授業に加え、農業クラブの活動の場となっています。

今回は、農業クラブの研究している生物（アカハライモリとセミ）を中心に、「能勢の身近な自然」をテーマに、農業科教諭が中学生に体験学習と講義を行いました。また、最後にビオトープ池の観察を行いました。

小中学生の皆さんには、環境学習を難しくとらえずに、自分の地域で観察できる生き物から地球規模の環境問題について考えていく機会になって欲しいと思います。イモリの観察カードは実物を見ながら、中学生全員が完成できました。フィールドワークでは農場ビオトープ池の水辺にメダカが群れて泳いでいる姿を確認できました。

今後も本校農場を交流活動の場として活用していきたいと考えています。

